



20
24



学校法人 成田山教育財団

成田高等学校附属中学校

—— 建学の理念 ——

成田高等学校は、

「成田山の宗教的使命の達成」

～真理を愛し、社会に奉仕する～

「地方文化の向上」

のために創設されました。

—— 育てたい生徒 ——

広い視野と旺盛な好奇心を持ち、他者とともに問題を解決し、
創造および発信できる主体的な生徒

—— 努力目標 ——

挨拶する／正装する／勉強する／運動する／掃除する

たくましい 日本人の育成

成田高等学校附属中学校・成田高等学校

校長 鈴木 隆英



国際化が一層深まる世界にあって、みなさんはそう遠くない未来に、多くの国の人々と話し合い、協議して仕事をしていくことになるでしょう。そんな中で、みなさんは「あなたはどうか考えるのか?」「あなたはどうか対応するのか?」と問われることになります。そういう意味で、まず第一に、自らの地域の文化と伝統への理解を深め、尊重し、郷土や文化を愛する心を育てていくことが重要であると考えます。それとともに、他の国や地域の文化と伝統に敬意をもち、尊重し、国際社会の一員としての責任を担い、責務を果たすことが求められます。みなさんは、本校での「文武両道」の生活を通じて、まず自分を知ることから始めてください。そして将来、たくましい人間として家族を守り、社会に奉仕し、国際社会に貢献する志を持った人物となってください。

本校は、みなさんがたくましい人間になり、夢と志を実現していくためのお手伝いをしていきます。皆さんの入学を待っています。

沿革

1887 (明治20年/10月3日)
成田山山主三池照鳳大僧正により、
本校の前身である修業年限3ヵ年の
成田英漢義塾が創立される。

1898 (明治31年/10月7日)
成田山山主石川照勲大僧正は
英漢義塾を閉塾し、
新たに修業年限5ヵ年の
旧制私立成田中学校の
設置許可を受ける。
この日をもって
本校の創立記念日と定める。

1908 (明治41年/2月21日)
修業年限3ヵ年の
私立成田山女学校が創立される。

1911 (明治44年/2月13日)
成田山女学校を閉校し、
修業年限4ヵ年の
私立成田高等女学校として
設置認可を受ける。

1948 (昭和23年/3月31日)
学制改革に伴い、
中学校、女学校を統合し、
成田山文化事業財団を設置者とし、
成田高等学校の設置認可を受ける。
同時に中学校を併設する。

1949 (昭和24年/3月31日)
併設中学校を閉校する。

1951 (昭和26年/1月19日)
私立学校法により、
学校法人成田山教育財団の
設置認可を受ける。

1966 (昭和41年/12月23日)
附属中学校の設置認可を受ける。

1967 (昭和42年/4月8日)
附属中学校を開校する。

1973 (昭和48年/3月15日)
附属小学校の設置認可を受ける。

1973 (昭和48年/4月7日)
附属小学校を開校する。

1998 (平成10年/10月8日)
創立100周年
記念式典を挙げる。

2012 (平成24年/3月8日)
新校舎竣工

2013 (平成25年/7月3日)
新武道館竣工

2013 (平成25年/10月7日)
創立115周年記
念式典を挙げる。

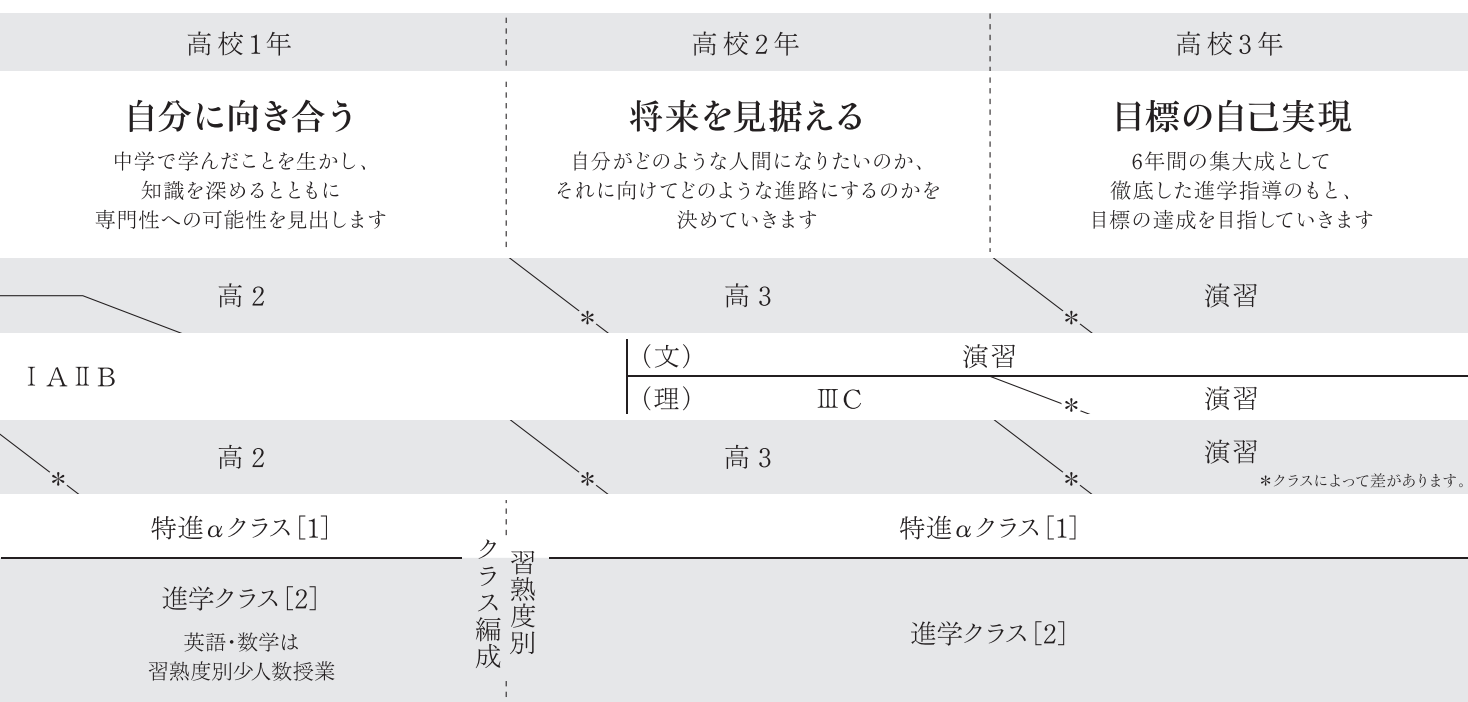
2018 (平成30年)
創立120周年



	中学1年		中学2年		中学3年	
生活目標	中高一貫教育始まり 社会のルールや学校のルールを 学校生活の中で 身につけていきます		自分の考えを持つ 様々な行事や 総合学習を通して 自らを表現する力が高まります		周りの世界を知る 中学1,2年生で培った自主性を 基盤にいろいろな文化を通じて 視野を広げる学習をします	
教科進度	[国語] 中1	中2	中3			
		高1（他学年の内容と並行して学習）				
	[数学] 中1	中2	中3			
クラス編成	[英語] 中1	中2	中3			
			高1			
			※中3から高校の内容に入ります。			
クラス編成	均等クラス		均等クラス		特進αクラス[1]	
					進学クラス[2]	
					英語・数学は 習熟度別少人数授業	

中高一貫のメリットを生かした 合理的な教育で夢に近づく

中高6年間という長期的な視野で独自のカリキュラムを組むことにより、
大学進学を目的とした効率的で無駄のない学習方法を実現しました。



○高校では、付属中学生は独立してクラス編成を行います。高入生（高校からの入学生）とは、3年間別クラスになります。
○高1・2年次に高校教育課程の必修科目をほぼ履修完了し、生徒の進路希望に対応するため高2年次から文理別授業となり、
現役合格を目指します。

一人ひとりにとことん向き合う指導

1 新入生指導

1日の流れや学習方法、施設紹介、進路について上級生による少人数グループでの説明会が行われます。新入生は気軽に質問しながら中学校生活を学んでいくことができます。

2 学習記録で身につく時間管理能力

オンラインの学習記録を使うことで、基本的な時間管理能力が育まれます。また、担任を始めとした学年の教員による指導のもと、生徒一人ひとりが学習習慣を身につけ、文武両道の生活を送ることを目指します。

3 面談

生徒との二者面談、保護者面談を通して個人の悩みの早期発見、早期対応に努めます。

4 学力補充講座で安心サポート

進度の早い数学・英語について、定着の不十分な生徒を対象に週に各1回の補充講座を開講しています。

5 夏季・冬季講座で養う学力

学力に差が出やすい長期休業中には特別講座が開かれます。多様な講座から自分に合った内容・レベルの講座を選び、それぞれ無料で受講することができます。

6 プレゼンテーション

本校では生徒による発言の機会を数多く設定しています。発表が苦手な生徒でも、親身な指導があるので心配いりません。

7 中学からのキャリア教育

各自で行う職業学習、様々な職種の方を招いて行う講演会、企業から与えられた課題に取り組むインターン体験等により、将来に目を向ける機会を提供します。

8 個人に合わせた習熟度別授業展開

高校の内容の先取り学習が始まる3年次には、数学と英語において習熟度別授業が行われます。苦手教科をなくし、得意教科をさらに伸ばすことを目標としております。

9 ICTの効果的な活用

中学1年次に学校が指定したタブレット端末を全員に購入していただき、オンライン授業のほか授業時の教材や宿題を配信するなどの学習活動に利用します。ICT化が進む社会への対応力育成、ICTを効果的に活用したわかりやすい授業により、題材をより深く学ぶことを実現します。

10 外部検定の積極的活用

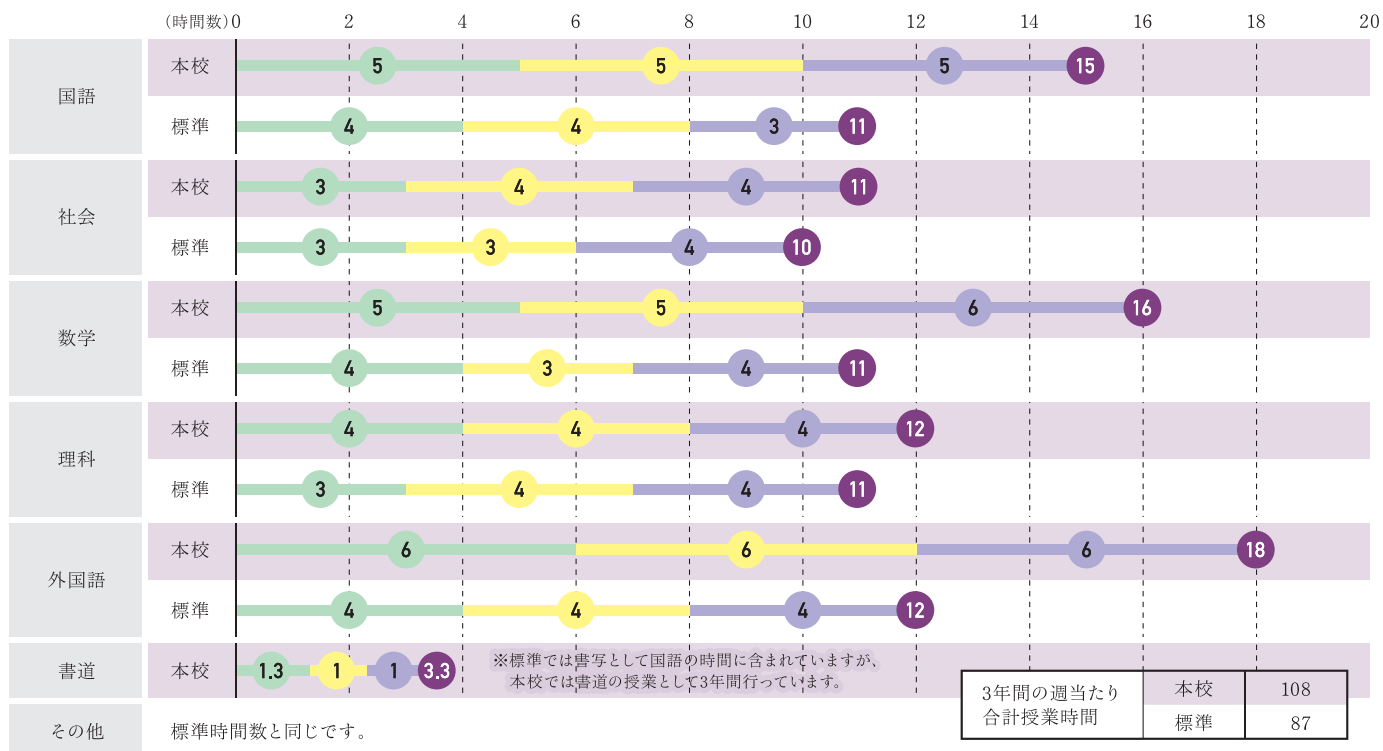
英検・漢検・硬筆毛筆書写検定といった検定の受験を促し、サポートしております。特に英検においては令和4年度卒業の中3生のうち12名が2級(高校卒業レベル)取得、30名以上が準2級以上、半数以上が3級以上を取得しております。



基礎から応用まで余裕をもった先取り学習

教育課程

1年生 2年生 3年生 (標準とは文部科学省が提示している基準となる授業時間数を指します。)



○標準より時間数が多い教科に関しては
1教科を分野によって2つの授業に分けるなどの工夫をしています。
例えば 理科1(物理・化学)／理科2(生物・地学)
国語甲(現代文読解)／国語乙(文法・古典)
というように高校での学習内容とのつながりを考慮しながら各分野の
専門教員が授業を担当することでより深い内容理解を目指します。

○本校では、大学受験に必須の科目(国数英理社)の授業時数を大幅に増やしています。これにより、中高6年間での先取り学習を余裕をもって実現することができます。

(令和5年4月現在)
※文部科学省の学習指導要領や大学入試の内容等の変更に対応するため変更する場合があります。

一人ひとりが満足できる進路を実現

令和5年度 成田高等学校現役大学合格者数 ※ ()内は合格者数のうち付属中出身者

国公立大学 計 32(10)			
北海道大学	1(0)	福島大学	1(1)
大阪大学	1(0)	富山大学	1(0)
お茶の水女子大学	1(1)	信州大学	1(1)
千葉大学	9(2)	新潟大学	3(0)
東京学芸大学	1(0)	茨城大学	1(1)
東京都立大学	1(0)	高知大学	2(0)
筑波大学	2(0)	千葉県立保健医療大学	1(0)
横浜国立大学	1(1)	群馬県立女子大学	1(1)
埼玉大学	2(2)	会津大学	1(0)
金沢大学	1(0)		

私立大学合格者総数 計 676(307)					
早慶上理 計 44(19)		GMARCH 計 92(54)		その他私立大学	
早稲田大学	12(5)	学習院大学	9(7)	成蹊大学	5(3)
慶應義塾大学	6(3)	明治大学	20(10)	成城大学	8(3)
上智大学	8(4)	青山学院大学	13(11)	明治学院大学	6(1)
東京理科大学	18(7)	立教大学	19(7)	獨協大学	6(1)
		中央大学	14(7)	國學院大學	18(8)
		法政大学	17(12)	武蔵大学	6(2)
				日本大学	89(37)
				東洋大学	51(30)
				駒澤大学	16(11)
				専修大学	12(6)
				芝浦工業大学	11(5)
				東邦大学	19(6)

中学時代を彩る一つ一つのできごとが、 大切な思い出になる

一年を通して催される、さまざまな学校行事を通して、生徒たちは確実に成長していきます。

〈主な学校行事〉



入学式



中1宿泊研修



中1宿泊研修



海外語学研修

4 Apr

5 May

6 Jun

7 Jul

8 Aug

9 Sep

10 Oct

- ・始業式
- ・入学式
- ・授業参観

- ・中間考査
- ・生徒個別面談
- ・宿泊研修
(1年、筑波山1泊2日)

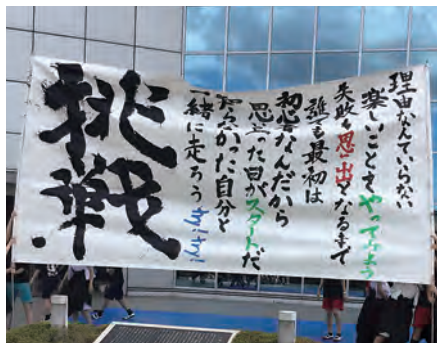
- ・保護者個別面談
- ・宗教講話会

- ・期末考査
- ・全校野球応援
- ・海外語学研修
(3年希望者、カナダ13日間)
- ・終業式
- ・夏季講座(希望者)

- ・中学登校日
- ・夏季講座(希望者)

- ・始業式
- ・葉牡丹祭(文化祭)
- ・体育祭

- ・創立記念日
- ・芸術鑑賞会
- ・中間考査



葉牡丹祭(文化祭)



葉牡丹祭(文化祭)



体育祭



体育祭



体育祭



修学旅行



学年行事(1・2年)



修学旅行



かるた会



スキー教室



卒業証書授与式

11 Nov

- ・修学旅行
(3年、奈良・京都3泊4日)
- ・学年行事(1・2年)

12 Dec

- ・期末考査
- ・終業式

1 Jan

- ・かるた会

2 Feb

- ・スキー教室(2年、3泊4日)
- ・企業インターンワーク体験(3年)

3 Mar

- ・学年末考査
- ・3年生を送る会
- ・卒業証書授与式
- ・海外語学研修
(3年希望者、アメリカ12日間)
- ・修了式

学校生活をより楽しくする部活動も充実

運動部、学術・文化部、同好会の計25の部活動が盛んに行われています。
クラスや学年を越えた仲間と、ときには高校生の先輩とともに、好きなことに打ち込んでください。



ソフトテニス部



バトン部



野球部



弓道部



陸上競技部



音楽部

2023年度 活動クラブ

(令和5年4月現在)

運動

野球部
バレーボール部
水泳部
弓道部
剣道部
柔道部
陸上競技部

卓球部
バスケットボール部
バトン部
サッカー部
ソフトテニス部
空手部

学術・文化

科学部 演劇部
英語部 音楽部
華道部 競技かるた部
写真部 放送部
美術部
書道部
インターアクト部

同好会

将棋同好会



水泳部



バレーボール部



バスケットボール部



卓球部



サッカー部



競技かるた部

令和4年度 主な実績

運動部

〈水泳部〉

- 令和4年度印旛郡市中学校総合体育大会
水泳競技大会
男子総合 第4位
女子総合 第3位

〈柔道部〉

- 令和4年度印旛郡市中学校総合体育大会柔道大会
男子個人戦60kg級 第3位

〈ソフトテニス部〉

- 令和4年度第53回千葉県中学生
ソフトテニス選手権大会
男子個人戦 ベスト16

〈サッカー部〉

- 令和4年度印旛郡新人体育大会 第3位
(印旛地区第3代表として県大会出場)
- 令和4年度第2ブロックサッカー大会 優勝

〈陸上競技部〉

- 令和4年度印旛郡市総合体育大会
陸上競技大会
男子2年100M 7位
- 令和4年度印旛郡市新人陸上競技大会
男子共通200M 4位
女子共通走幅跳 6位(2名は県新人大会へ出場)

〈バトン部〉

- 第50回記念バントワーリング千葉県大会
金賞、千葉市教育長賞
- 第57回バントワーリング関東大会
金賞
- 第50回バントワーリング全国大会
銀賞

〈卓球部〉

- 令和4年度千葉県総合体育大会 卓球の部
女子団体 ベスト16
- 令和4年度印旛郡市総合体育大会 卓球の部
女子団体 準優勝
女子ダブルス 優勝
- 令和4年度千葉県私学卓球大会
1年男子シングルス 優勝

〈弓道部〉

- 関東中学校弓道大会
男子団体 第3位
男子個人 第3位
- 千葉県中学校弓道新人大会
男子団体 準優勝
女子団体 優勝

学術・文化部

〈放送部〉

- 第39回NHK杯全国中学校放送コンテスト
千葉県大会
決勝大会進出 朗読部門入選
予選大会進出 (アナウンス部門／朗読部門
番組制作部門)
- 第39回NHK杯全国中学校放送コンテスト
千葉県大会
優秀賞 (アナウンス部門／朗読部門
番組制作部門)
- 成田祇園祭 場外アナウンス担当

生徒の自主性を育む施設も充実

広々とした学習スペースを備えたラーニングセンターや
全天候型トラックをはじめとするさまざまな運動設備など、文武両道を支える多彩な施設が揃っています。



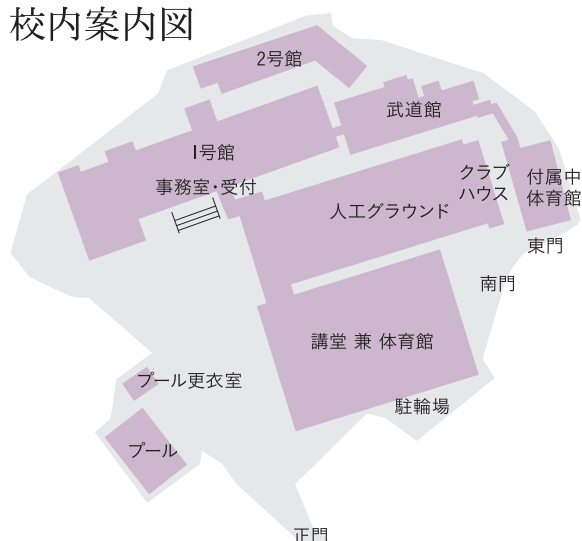
校舎の建築理念

文武両道の校風のもと、生徒たちが共に支え合い切磋琢磨する学舎として、
新時代を担う人材の育成を目指します。

- 〔創造〕 ラーニングセンターを中心とした知的創造を促す校舎
- 〔交流〕 コミュニケーションを高める空間構成
- 〔連携〕 中高一貫教育としての連携を促す空間構成
- 〔調和〕 伝統・環境配慮・更新性・安全性を重視した将来を見据えた校舎

校内案内図

周辺施設案内図



人工グラウンド



理科教室



講堂 兼 体育館

講堂はバスケットコート2面分の広さがあり、528席の電動式観覧席を備えています。舞台奥には高さ4mの不動明王が祀られており、近代のかつ仏教校としての特徴のある施設になっています。



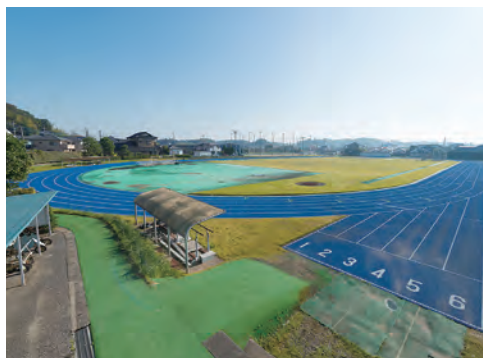
ラーニング センター

40,000冊を超える蔵書を誇るラーニングセンターには、インターネット環境の整ったパソコンも設置しており、多くの生徒が自由に読書や試験前の勉強に励んでいます。



ラーニング センター 前ホール

ラーニングセンターの前にはカフェのような雰囲気のホールがあり、試験前の放課後には、グループ学習の場として使う生徒達で賑わいます。



グラウンド

400mトラックのある全天候型グラウンドは体育の授業や陸上部の練習、体育祭に使用されています。観覧席もあり、体育祭を見学にくる保護者の方にも開放しています。



作法室

茶室、水屋、日本間の3室を備える作法室では、華道部、茶道部が活動しています。日本間の障子を開けると、外には石庭の儼かな景色が広がります。



弓道場

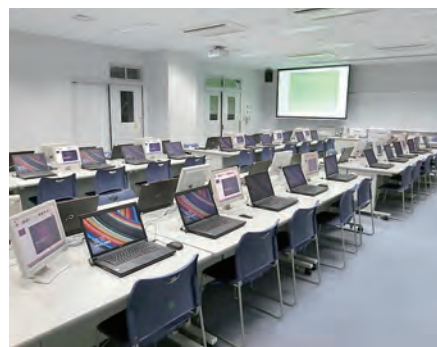
約1,200㎡の敷地内に部室や用具倉庫が完備されています。矢道は芝生が整備され、10人立の近的場・看的表示付きの充実した環境で大会の開催も可能です。



柔道場(武道館)



剣道場(武道館)



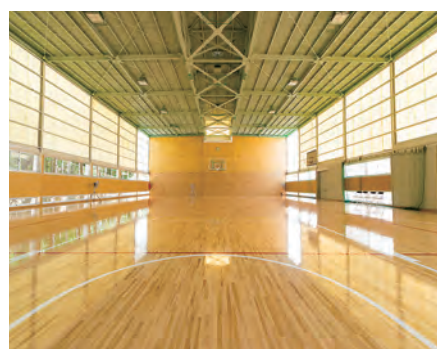
コンピューター教室



調理教室



視聴覚教室



付属中体育館



制服:冬服(左)／夏服(右上)。
制服以外にコートとカーディガン(女子のみ)が学校指定品となります。
女子生徒はスラックスを選択できるようになりました。

高校生制服

一日の過ごし方

授業に部活に、友だちとのおしゃべり、かけがえのない中学生生活を、
毎日楽しみながら過ごしています。

月 ～ 金曜日	
7:00	ラーニングセンター開館
8:25 — 8:30	HR
8:30 — 8:40	読書の時間
8:50 — 9:35	第1校時
9:45 — 10:30	第2校時
10:40 — 11:25	第3校時
11:35 — 12:20	第4校時
12:20 — 13:05	昼休み
13:05 — 13:50	第5校時
14:00 — 14:45	第6校時
14:50 —	道徳・終礼・清掃等
15:10 — 15:35	第7校時 (25分・水のみ)
18:00	ラーニングセンター終了

土曜日	
7:00	ラーニングセンター開館
8:25 — 8:30	HR
8:40 — 9:25	第1校時
9:35 — 10:20	第2校時
10:30 — 11:15	第3校時
11:25 — 12:10	第4校時
12:15 —	終礼・清掃
15:00	ラーニングセンター終了

●平日の平常日課における
ラーニングセンター(自習室兼図書館)
利用時間は、7:00～18:00



登校時には、元気な朝のあいさつが聞こえてきます。



時に真剣に、時に楽しく、メリハリのある授業です。

※令和5年度

在籍者数

(令和5年4月1日現在)

1年	男 子	75
	女 子	54
	計	129
2年	男 子	78
	女 子	54
	計	132
3年	男 子	74
	女 子	50
	計	124
男 子	女 子	計
227	158	385

市町村別在籍者数

(令和5年4月1日現在)

千葉県						茨城県	
成田市	83	千葉市	67	多古町	2	河内町	1
富里市	24	八千代市	22	匝瑳市	4	神栖市	5
佐倉市	54	習志野市	17	旭市	3		
酒々井町	5	船橋市	11	芝山町	1	その他	1
栄町	6	市川市	2	山武市	5		
印西市	14	市原市	1	横芝光町	2		
四街道市	19	我孫子市	11	大網白里市	4		
八街市	9	香取市	6	千葉県その他	1		
白井市	1	神崎町	4				
中学合計						385	

よくあるご質問

Q.学費について教えてください。

A.入学時の納入金等は下記のとおりです。このほかに学年によって異なりますが、教材費等が別途必要になります。

※在学中に、別途タブレット端末を購入していただく予定です。

入学手続時納入金

入学金	施設維持費	PTA入会金	校友会入会金	計
120,000円	100,000円	1,000円	1,000円	222,000円

毎月の納入金等(令和5年度参考)

授業料	施設設備費	実験実習費	図書費	冷暖房費
28,000円	7,000円	300円	200円	500円
校友会費	PTA会費	同窓会費	積立金	計
2,000円	2,000円	100円	9,300円	49,400円

※令和6年度について変更がある場合はHP上に掲載いたします。

Q.奨学金制度はありますか？

A.中学生についてはありませんが、本校の奨学金制度として、高校の各学年若干名の成績優秀者に対して、奨学金の給付(年間12～24万円)や入学金の免除がなされます(特別奨学金制度)。また、高校生に対して外部団体等で行っている育英資金の奨学金制度があります。

Q.携帯電話を

校内に持ち込むことはできますか？

A.携帯電話の持参は緊急時の対応等を目的に許可制で認めていますが、生徒が持参した携帯電話は、朝のホームルーム時にクラス担任が回収し、帰りのホームルーム時に返却するようにしています。

Q.海外へ行く機会がありますか？

A.中3から高2の希望者対象で、カナダ(7月)アメリカ(3月)での語学研修を行っています。それぞれ2週間程度のプログラムの中で、現地の文化を学び、英語力の向上を図ります。将来語学を生かした進路を考えている生徒には、参加を奨励しています。

※令和5年度はカナダ語学研修は中止となりました。

Q.受験状況について教えてください。

A.本校の令和5年度入試の受験状況は下記の通りです。

〈第一志望入試〉

募集人員:35名

志願者	129
受験者	128
合格者	46
志願倍率	3.7
実質倍率	2.8
合格最低点	178*
教科別 合格者 平均点	国 68.9点/100点満点
	算 57.4点/100点満点
	社 32.9点/ 50点満点
	理 35.4点/ 50点満点
計	196.7点/300点満点*

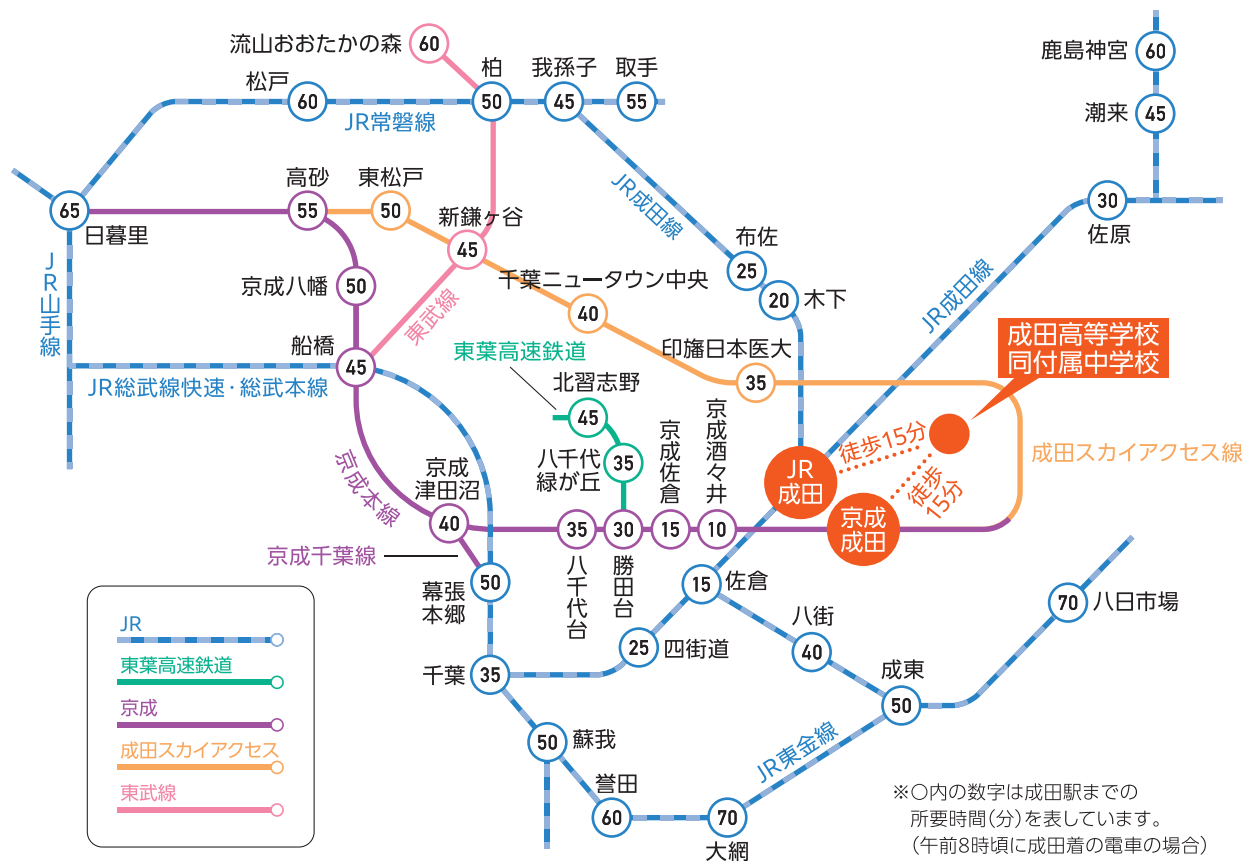
〈一般入試〉

募集人員:60名

志願者	237
受験者	185
合格者	81
志願倍率	4.0
実質倍率	2.3
合格最低点	182*
教科別 合格者 平均点	国 67.6点/100点満点
	算 68.8点/100点満点
	社 34.1点/ 50点満点
	理 27.9点/ 50点満点
計	204.7点/300点満点*

※合格最低点、合格者平均点の合計点は英検取得、第一志望等による加点を含んだ点数です。
第一志望入試は英検取得者に対し3級で10点、準2級で20点、2級で30点の加点があります。
一般入試では上記の英検取得者に加え専願者のうち第一志望入試受験者に20点、受験していない者には10点の加点があります。

通学区と各駅から最寄り駅までの時間 (分)



学校法人 成田山教育財団

成田高等学校
付属中学校

〒286-0023 千葉県成田市成田27
TEL.0476-22-2131 FAX.0476-23-0234
E-mail : nyusi@narita.ac.jp
<https://www.narita.ac.jp>
最新情報はニュースをご覧ください。



●JR成田駅・京成成田駅 徒歩約15分

学校説明会 要予約

※日程等に変更がある場合はHP上でお知らせします。

詳しくはこちらから



(学校紹介ページ)

説明会(現地・オンライン・録画配信)

第1回 令和5年
7月29日(土)

第2回 令和5年
8月19日(土)

第3回 令和5年
10月28日(土)

スクールツアー(校内施設等見学)

第1回 令和5年
8月3日(木)

第2回 令和5年
8月24日(木)

第3回 令和5年
11月25日(土)



(学校説明会予約ページ)